

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがおねっと守口(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 3月 1日		2025年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しみをもって通っている児童も多く見られるため、そこから職員と一緒に挑戦できる事などをみつけやすい。	今クリアできない事や課題でも、少し時間を置いたらできるようになったり、苦手意識が和らいだりすることも多いと思うので、タイミングや取組もうとする気持ちなどを大事にしています。	スタッフ全体での信頼関係づくりを図っていくことで、チームとして児童、ご家族様の今の不安や悩みに応えていけるように取り組んでいく。
2	児童発達支援も行っているため、幼少期からの成長の支援に携わっている支援員も多い。 (児童の障がい特性や、課題への取り組み、引継ぎ、情報の共有など新しいスタッフにも伝えやすい)	年齢の差はあるものの、児童同士で知らない事を教え合う、協力し合う、優しくするなどの機会を設けて経験していけるように、と思います。	支援内容の集団活動や、外出支援などによって、児童同士お互いを意識し合える環境の場をより提供していけるようにする。
3	創作活動・外出支援・料理教室等、目的が明確化されたものの情報を児童本人、保護者様へお知らせしやすい環境がある。	見通しがわからないと不安になる児童も多いと思われるので、創作の際の手順書など含め、工程やスケジュールをシンプルに視覚化した物を用意し、児童に伝えるようにしている。	外出支援などは特定の曜日が続くこともある為、様々な曜日にも実施していけるよう、企画や調整を図っていけるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全体の把握が保護者様からしづらい。	保護者様と関わるスタッフも、機会や時間に限りがある為直接お話しする機会が少ない。	保護者様にスタッフ一覧などをお渡しする事で、周知や紹介の機会を増やしていけるようにする。
2	事業所内での様子がまだまだ伝わりにくい。	取り組んでいる内容、児童の様子など連絡帳やブログだけでは伝わりきっていない部分がある。	児童一人ひとりの様子など、ブログ等をより活用しながら保護者様にお知らせしていけるようにする。
3	保護者会の開催などが少ない。	日程の調整や早めのお知らせ、企画など話し合う機会が少ない。	支援員同士のミーティングでも議題にあげながら、具体的な企画を立てていけるようにする。